原は大殿前は肥沃にして繁爽 農村の渡弊

は米棚を順客として輸出せられてあるのである、かうした

た農産物が自分等の所有に 質に農業機械や自分等が作つ 式農業機械の普及化ではなく

生糸の輸出状況から考へて露 ・いふよりは零ろ價格が下つた ・にかに重大化したのである、 一位つてこの價格の下落に對し て如何なる對策を購ずべきか が露糸問題の核心だといへよ う、これに帰しては便額下落に對し をあった、米園の需要 をある。 ・、これに帰しては便額下落に對し がないが、一面にはまた我

の手によって

唯生糸の

る、そして養蠶農家は臺輸出商三十を敷ふる有税

於て極端に忌避したのは新くてソ聯農民が新農業政策

制度を修りたのは當 制度を修りたのは当れて 最民にはより夢く名 たのは雪ろ當然である たのは雪ろ當然である たのは雪ろ當然である にしたの望壇に たのは雪ろ當然である で犠牲と爲る氣は無 たのは当日の聖壇に たのは当日の聖壇に たのは当日の野東 でものは当日の日間 たのは当日の日間 にしたのは当日の日間 にしたのはものは にしたのは にしたの にしたの

統制を要望

協調會農村課長 松村勝治郎

定値段で 四側的に賣らせる下

工業化の聖壇に自ら進む農民 ソ聯邦農村の崩壊

一九二八年には農民が自己の 利が事實上政府の爲めに侵害 ところ、ことになった

其後引續き行はれ肉、牛乳、 しむるに至つた、此の制度は りを一定値段で强制的に實ら

日本の對滿方針と

兩鐵職制改正

全面的政策を檢討

年地方官憲へ訓令を嚴達し秋の收穫期には中央官憲は

民から買上ぐる穀物の最

羊豚牝牛馬 種 別

氏談

信夫淳平

野村言思

菊池

高時頭数 (高時頭数 (高時頭数 (1) 1,700 (1) 1,7

上述の通りソ聯政府は全農業 を関系並集團管理下に置く政策を採つたのであるが遺は全 が 中の 實績に照しソ聯政府は全農業 が ウクライナ農務當局より である して と を 夏期の調査に 限して 財 を 登表して居ないが結局 過去四 か で クライナ 農務 に ついて は 農作物 並家 畜 統計 に よれ た が お ある も の ュ 如く で 記 者 を 夏期の 調査に て 全 ソ 聯 農村 の 八 関 元 か に ま さ な と で 記 者 と で に ま で と で 記 者 で と で に ま で と で 記 者 で と で に ま で に ま で と で に ま で に ま で と で に ま で と で に ま で と で に ま

満洲の重要輸出商品

ら夫々意見が提出され、既に 防事部及經濟調査會の合作に 成る府事會社設立案も作成さ れてゐる 如く蒋織關係會社の設立は前記の 如く蒋織關係會社の設立は前記の

吉川商會 でゐたので 機の商質は非能率 反

發行所

第一、滿鐵本社はじめ、昭 和製鋼所、滿鐵化學工業 會社等の新設會社が夫々 腹質機關をもつといふこ とは無意談であること 第二、一個の販賣機關即ち 販賣會社に統一されゝば 組織が大きなだけに、第 和販賣上に幾多の便宜を 等の諸監を舉げてゐるが、之等の居動を選げてゐるが、之の和織及選用經營の宜しきをいとの見解から消事會社のは既に薄斂の既定方針の一つとされて來たのである 三菱の大け桐和織に對抗 し得るかどうか し得るかどうか 動か手で行ふ方が事業に 動する異味も熱心も出て ら既設の脳和製鋼所も

世を風靡したる 日米開戰論

のとして米國の一擧手一投足日本の國力發展を邪魔するも日本の國力發展を邪魔するも日本は半國が日本を悉く條約 満洲國顧問プロ 投足 以上は宗教上の投資になってとし ける米國の投資額は約一億とし ける米國の投資額は約一億 y ソン、レ

明 この點相當考慮されてゐる模 一元來滿鐵事業の重要部門たる 炭坑及び製鐵各製品の販賣並 に滿鐵重要物品の購入は商事 一元來滿鐵事業の重要部門たる であるが、今度昭和製鋼所、 による満鍛の用度品購入を取 機はしめやうといふことが 考慮されてゐる、その資本金 よれば、二千萬國と稱され、 全株を溝鈸で出資するか、そ 基督教は主として新数である 東た、而して宗教闘係の人々 東た、而して宗教闘係の人々 を言ふも支那に布数され居る と言ふも支那に布数され居る の駐支外交代表は米國の傳

密接に結びつけるために製品

部を持たしめることになるか

正副總裁の大連歸任後本格的 部改革」と自稱し先頃の軍部 の改組案とは全く別個の意思 の下に遂行せんとするもので あるとの意を言外に付はして あるとの意を言外に付けして

一、附屬地行政機の移管問題と 等が滿鍼改組をめぐる問題と 等が滿鍼改組をめぐる問題と が、現在職制改正上の問題と が、現在職制改正上の問題と が、現在職制改正上の問題と

から外交代表としては 樹太系やユニテリアンや加特利の人々は 如何に銀行界に 實業界に 気きをなし 又自身に力量のある人でも先づ不合格であつた へた事を追憶する大第だが、

供し他方外國よりの輸入品代地帶に蝟集せる勢働者に食を優先權を持つた政府は新工場際上職生の場合に食を

高る、減鐵職制改正の主旨は 「満洲の新事態に順應し日本 酸類せしめやう」といふにあ り、去る三月卅日の関議の決 に満鍼を根幹とす云々」の根 は満鍼を根幹とす云々」の根

会社を設立す 会社を設立す 第二 産業部門の新設 第二 産業部門の新設 に基く職制の更改 の三點である、以下之等の三 時題に就てその概要を極速し

商事會社新設

地位に置かれた、之は事實で地位に置かれた、之は事實で 変人が営て私に語つたことで あるが支那に於ける米國の完 を表しの概念は貿易産業上の投

雅み、商事部を解体して商事 他重要生産會社の創立又は計 他重要生産會社の創立又は計

來採頭し當時既に關係個所か

本方針を基點として發展し来 門 題 つた問題で該根本方針に従へ 高事會社の設立は滿鐵關係會 職 不會社の整理 ね、滿洲重要生産製品の販賣 書 、現行商事部解体並に獨立 統制機關たらしめやうとする 総 あので、この外に鐵道建設材 會 下、六十有餘社に上る大小傍 社製品の一手販賣權を之に委 は、滿洲重要生産製品の販賣 書 もので、この外に鐵道建設材 會 職 本方針を基點として發展し来 門 題

生糸生産には農業から商業に 至る全産業部門が闘與してゐ る、故に有機的にこれを統制 せざる限り今回の如き生糸恐 せざる限り今回の如き生糸恐

要である、最近我邦は 要である、最近我邦は

|| 横作 || 工業國として世

たっていたる地は

新京日日新川 曾 業 部

米國は傳道事業や石油營業を 支那と殿はなかつたのである 高時米國傳道事業開係者の政 所に對する要求は米國に對す る支那の敵艦心を摘設せざる ことであつた、過去に於て支 がた機に瀕する毎に米國政 第二義的のものとしか考係を かつたのである

矿

后外法權撤廢 貫せる現地意見を確立 は

し中央に對して將來の絕對的な指針を與へ得なと同時に實を現實に則して檢討せる結果一貫せる現地意見を確立證認なく披瀝して對蔣政策再認識の基礎となるべき諸事に終了したが本會議を通じての最大の教獲は現地事情を事會議は出席者の熱心なる討職によつて十二日大成功裡 方補洲國に對し日本の賃意の奈邊にあるかを確知せし

從つて本問題は飽く迄大薬的見地に立つて解決すべきでゆる方面の日満合作は兩國の發展の爲め絕對必要でありは今日の日満不可分の關係から見て政治、産業、交通儿益の放棄として反對論を唱へる向もあるが、現地として優並に附屬地行政權返還は內地の一部にありては既得權 更に具体的な例を示せば當面の重大案件たる治外法權撤め少なからず信賴の念を與へ得たことである

、治外法權撤廢は滿州國の司法制度改善が日滿合作

政権の自然的解消であり権益の放棄ではなくなる附、附屬地行政権返還は客職的状况に順應して起る行 **島地そのものとしては擴大伸張を意味す**

園公首相官邸訪問

中央に指針を與

間に開かれる最高會議の有力意見となる管である。 にされた、練いて課税問題、不良邦人取締問題等が協議され多れた上、中央に於ける外務、陸軍、拓務その他關係當局れた上、中央に於ける外務、陸軍、拓務その他關係當局れた上、中央に於ける外務、陸軍、拓務その他關係當局、本省派人の物源を納めたが本會議に於ける結果は何れる本省派人の物理を納めたが本會議に於ける結果は何れる本省派人の物理を持続。 更に各閣僚と挨拶を交したる。
問を受けた答禮の挨拶を述べ

【大連関通】 満銀社員會評議 は大連関通」 満銀社員會評議 は中島幹事長以下 本部役員及ひ議員四百六十名 先づ幹事長額長席につき諸般 の報告後議事日程に入り劈頭 で本氏より滿鏡改組問題に闘 であり別委員會の經過並に今

く政治的大勢に善鷹すべきが至當なる趣旨の動向が明かく政治的大勢に善鷹すべきが至當なる趣旨の動向が明かせるとき發展的解消を斷行すべしせるとき發展的解消を斷行すべしをあた。強弱の制度及ひその運用につき日満兩者の步調合致故に現在の附屬地内に日本側と附屬地外の滿洲國側と故に現在の附屬地内に日本側と附属地外の滿洲國側と (東京國通) 西國寺公は十二 日午前十時五分原田熊雄男を 佐へ駿河臺の自邸を出で同十 たの首相官邸に齋藤首相を訪 で、大之より先高橋嶽相、山 本内相の兩長老閣僚は首相の 公は首相に對し上京の挨拶並招きにより参邸列席、先づ閩

視察のため 北滿經濟狀態

スクリッドレー氏は十一日午後二時十分着南部線列車で来哈、直ちにフランス領事に入つたが、北満の經濟事に入つたが、北海の經濟

日

日ツ外交常道化

北鐵交渉の態度も明瞭に看取

果亜の平和確立か

領漁區入札並にループル換算

然的で今後の日ソ外交の進展 は日支外交のそれと同時に

有すること」ならう

ソ聯満洲

要求を入れ

牡丹江クロス問題圓滿解决

「東京関通」日濠貿易の整調 四十五分意義深き會見を了 「東京関通」日濠貿易の整調 四十五分意義深き會見を了

レーサム外相は満足氣な面持四十五分意義深き會見を了し

意見の交換を遂ぐ

館員着哈 駐支佛公使 州五分辞去したが雨長老閣僚僅かに廿分にして園公は十時

において既に第一次の横洲國朋年度の豫算は主計處

あつても明年度接算はあつても明年度接算は

一、器物若くは營業に関する

標準器に依り酸密な集合檢

不足額は

明税收入の自然増を待つ

一萬圓

園公より

政治問題

見後齋藤首相は語る

首相語る 從つて編成したためか總要求部、署とも政府の緊縮万針に 査定 中であるが、各

ることは絶對に

右三様に區分して度量衡制度

事は誠に申譯けがない、日本とだが多くの死傷者を出した に行つたら慰顗祭を行ひ英鑑

不正器具

取締る

|増税|

により新税を課 とより新税を課

計量せられた量目の正否

產金買上價格

の點から考慮して本年度の現 計算算一億七、八千萬圓程度 に削減するものとみられてゐ る一方明年度の歳入は最村の 不況で多少の影響はまぬかれ 國幣三圓二角〇分產金買上價格一瓦二付 權度

制方策

査済印を附する事になつてる

リの三種の

局度量

丸印に毎年其年の下位の数字

取締り方法とし 権度局に於ては 所に使用器物を提出せして一定の を提出せしめ 進めてゐるが

所に輝く

凱旋の平賀

次凱旋部隊

チチ

王道の光隨

兼任税捐局屬官(委任一等) 天野 治安 任財政部屬官(1 政部理財司勤務を命ず 委任一等)

(8

北鐵第二次中間會商

ス問題は解决するに至った

と之に件ふ海運界の好輌に

間島輯私局勤務を命ず任吉無確選署屬官へ委任三等)

井門 通夫

稅務監督署屬官

田外相を訪問、特受けた廣田 十二日行はれた、この日午前 十時レーサム外相は官邸に廣 特されてゐた廣田外相とレー

滿洲國辭令

我務監督署屬官

白井金右衛門

黄郛氏夫人同伴

意見の交換を行ひ午前十一時 商問題を始め太平洋の平和問題を中心とする兩國の政治關 領技的二時間に亘り開意なき 前後約二時間に亘り開意なき

熱河專賣署勤務を命ず熱河專賣署勤務を命ず本表大夫

任財政部屬官(委任二等)財

濱江稅務監督署動務を命ず任稅務監督署屬官(委任二等)

日開催

4

は東京國通」北鐵変沙に関した。 大名九日軍光外務文官の官邸 東京大学県に提出された満洲の 大が第三大中間會商で滿名 たが第三大中間會商は來る十二次 に対して行ふこととななつた

カ會社の外債買入れも多かつ 変が非常に多額を占めたが電 変が非常に多額を占めたが電 では海外投資、特に満洲國投 では海外投資、特に満洲國投 では海外投資、特に満洲國投

十一日午後五時夫人同伴杭州 十一日午後五時夫人同伴杭州

國都建設促進の為

【杭州十二日發國通】 浙江莫

赴く事に央定した

諸會社

触り損失を補

外收支概算

日蘭會商の

外務省訓令案大綱を决定

六省協議會の結果

の減産反對の意味で反對論を加に對しては拓務省側が豪機

事業の進行をスムースなら 一層圓滑にして間都建設の

院令を以て同施行令を制定す ・ こととなり十一日勅令を以て ・ こととなり十一日勅令を以て ・ 並に同審査會官制を公布し尚 ・ 並に同審査會官制を公布し尚

其の概算について型 場外教支の状況につ は東京四通」昭和*

受取超過

れたが長岡代表及ひ六省文官 定の關係六省 協聯會 け十一 定の關係六省 協聯會 け十一

曜

なしたる銀行又

建設助成融資損失補償法公布

さる命令及び

を捕潰する契

ない

三、政府の支持ふ損失補償金 及二十ケ で二百萬圓 總額は融資

右契約を

銀行又は會社に對し右損失を受くる時はその

審查會官制

る契約締結の當否、損失額

二、右契約の 償金交付期間は夫々五ケ年

旋の途につ

等) 國務院總務 任國務院總務職 減、北支策殿に赫々たる武勳 として馬占山攻撃、蘇炳文撲 【チテハル関通】上海、満州 蘇々たる武動

密偵多數潜

国に於ては日本軍の交情報によれば

本で新京に向つた 東で新京に向つた

八並司法次官

満洲を無暗に 宣傳する

戦地區の射撃は

陸軍改正軍刀

薊縣の保安隊

關東軍司令部發表

ールン

宣傳した為たるか 宣傳した為たる して來る者が悪い して來る者が悪い の責任の一中は維 及ひ當局者の負は 雑誌、新聞、

評議員會開催

日ふえて丈夫に には全然觸れず 政治上の問題

があつたわけではない、 、公司 は本内相と三人でお食ひ した事は別段これといふ意味 ではない、 のではない。 のでは、 文部大臣の補充問題にはお會ひしたいとは 定はない、鈴木 て自分から公倒

度滿

或

一
豫
算

野ルンペンの多いことか(乃 語ルンペンの多いことか(乃 さなことは云へないが)これ は慥に事變以来済州はよい處 だ、一攫千金の口までと行か だ、一攫千金の口までと行か 今後の動策としては成行に動 らぬ旨の答解あつて護衆審議 に移つた 事長より特別委員會の存績と も短いのでー々 ーしよに會ひ度

言ふ様な話に終 で今の所左様なことは考へて
政府としては考へなくてはな
らぬが、そんな材料がないの

す

不法射撃を爲したる部隊に對

爲め政局に破綻を東す様なこ **紀問題に就ては小山法相から** 局に當つてゐるのだから速急 確かなことは云へぬが、このハッキリした報告がないから に決する必要もあるまい、

だりまりもあきれるばかりだった。 で質ひたいと思ふ同時に済州 で変し、何んとか老慮し のは情ない、何んとか老慮し のは情ない、何んとか老慮し の資体をよく内地人に紹介し されるばかりだ

国科は時簡柄注目され一部排 道途的論説を掲げてあるもの さへあるが右に闘し関東軍営 局は本日左の如く正式に設表

電的論説を掲げてゐるもの 秋にして事慣を懸げよ等と 秋にして事質を懸げよ等と

龍井驛の

運輸狀况

は既に出 満洲國文官の給與改正の骨子 給與令

けい縣保安康(徐廣林)な 鳥曹長の率ゆる部隊に對し 不独射撃を爲したる部隊は ではい縣に於て我大 滿洲國文官 けい縣保安除(徐廣林)

する法律案を法制局で

基礎工事(同)八、一七五圓

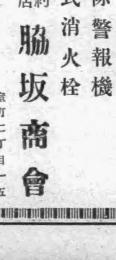
をだが多くの死傷者を出した の出來るのは實に糖しいこ との出來るのは實に糖しいこ 根耳替及軒樋修繕工事(鐵開原驛貨物五〇四號倉庫屋

儒 がに近頃ない

王道の光か

んのお宅で、 した▼面喰つたのは花む

盗難 自 式 消







.... 業 課

、私設電話、增設電話ニ對スル室內設備等、電話交換機 すの写真、機械及材料品、電話交換機 すの写真 新京電話工業株式會社

電話四九八一…三七三二番

商業 學 较 電正 十後話二門前 六 -苗

日曜。祭日

間療 往宅 診診 但ら急寒八此人限リニアラス午後二時ョリ 午前十時 一午後二時

目動式火災報知機



女優さん

の花見

軍政部の委嘱で

まづけふは西の

會、家族會で坊ちやんも襲ち 池のはた……思ひ思ひの野遊 池のはた……思ひ思ひの野遊

員約二百名池の南側陸上競技揚下で▲韓

比島は賛

日文後三時から行はれた マニラ十一日菱岡通1日本 水泳選手練習の最後記録會は

支那依然强硬

結果は左の如し

千五百米 牧野

小學校において盛大なる第一 一日午後六時半特別市立第一 一日午後六時半特別市立第一

五

A

六五四 BBBB

五日

都周子様に相名進星及だ

一六种二〇

會開資を目前であるが、

間し比島体育

二百米

滿洲國問題不安定

木のうちで二、三日前から四四寸程の岩木、十本ばかりの四寸程の岩木、十本ばかりの

五輪吹き初めた、簡もまだ多くついてあるから暖気とゝもに響も膨らみゆき、新京市民は陸上競技場下であらう、場所は陸上競技場下であるが市民はこの際自重して、愛撫して欲しいと公園事務所でも何しろ新京では初櫻だといふので

親陸會約五十名四あづま屋 利四百名九時から五時まで 約四百名九時から五時まで 利四百名九時から五時まで 利四百名九時から五時まで 利四百名九時から五時まで

郭家店

後一時より午

済済のでは、済済のでは、済済のでは、済済のでは、</li

三、同十一時十正午、講堂で 練費なほ總會では八年度決算 から教育方針その他について お話があるはず

開店紀念

MC 2 2 2

是新三二五六番

酒

あ

一面

香丁屋

四公園にほつ

ヴ

新央で案に養成するだらう を見るかも知れぬが何とか を見るかも知れぬが何とか を見るかも知れぬが何とか を見るかも知れぬが何とか

一、 同十時

——十一時、撥任

ふ西公園へ

開きは十四日左の通り擧行さ既報、西公園の本年度ボート

る、同地はいま製花の を

十一時から

分級列車に二輛車

衆花の隣開期

日本以外に何處からも認められてないからこれを加へたられてないからこれを加へた。

日本水泳選手の

十八日に開催半前中、春季運動會を暴行すれ等の配念日をかねて十八日は秋父宮間校記念日、十八日は秋父宮田の記念日をかねて十八日に第るので、これ等の配念日をかねて十八日に開催

舎ラ

帯より

專作問為

屋

奉任品

放式

午前十一時

極めて大切にして

ト開き

・ 新京驛主催翆家店

午前九時五十

けさ出

發する

ものではなく全會一致を多 取決に變更することは断乎 数次に變更することは断乎

花村へ、それぞれ遠足をする 年生は西公園に、二年生は杏 年生は西公園に、二年生は杏

公學校の遠足

花村へ、それぞれ遠足をす

室町校運動會

野遊會などの催し

きのふ西公園にて

花に見とれてゐるところです

朗かな

集まる視

本紙の特種ニュ

スで

にらい騒ぎの本間氏宅

なかつた

動務の李永氏が就任した

して元新京警察署巡査高等係・映員中のところ理事代理と

走したる處を突止た松本署 間の公債券を減領拐携し、

理就任

エと共謀し現金一萬國と五千佐田茂雄 (三九)は情緒トモ 佐田茂雄(三九)は情緒トモ長野縣松本市女羽重町大工職

寫 眞 || 住左住カメ

ナイル氏は入船村一丁目九番 即度の志士エ、エム、エム、

陶業五年生が

ンと話があるんですよ東京 「ナイルさんはもうチャアころで側にゐた本間夫人が遅か欲しがりそうである、 になるナイル氏も日 ッキン ド装飾 競技會 が春祭 りを機として來る十四日より 五日間開催されるが、新京商 五日間開催されるが、新京商

新

へに配念として保存しておいと思ひます。あとの三部は私たちバルスラム家に永 は私たちバルスラム家に永

くてなりませんでした』

拶する、記音まった」と挟 訪ねると 頭をかしげて「どうもいろっにおさまつた牧野嬢は心

のが待ち遠しくて待ち遠

いかにも朗かな爆笑だ、同じ

15

サンドを借 物、早朝より保津教論外数名の教師指導のもとに飾り付けを實行して居るが、生徒は頗る熱心で、ここ二年來二等賞を捷ちて得居る手前必ず入選すると云ふ意氣込みで、照明に背景に配置に汗みどろにない。

付けは十三日夜までに終了

陶冶を

奥越の争三、

平澤三四子

一〇、政を日

お釋迦さま

一、象の話

早川誠子

ろは談話を

創画 一、久保田祐子 開會の辭五、小松美代

ても

九、支那の國泰

顔を出す

で朗かな話 出ましたか!で 紙に目をやってる ましたか? に ほど新聞が無になつたらしく あはた だしく 質問し た、こ 親とうはさの中に朗かにその 田の來るを待ちながら準備に

日本娘で結婚? 今秋新京で撃式か の楔もいよいよ力强くなるれで二組擁つて、日印親善

わけだが、當のナイル氏はわけだが、當のナイル氏は

五月二十六日、六月二日三日、

話

女性のたしなみ

あすお午から新京高女で

談話會の新試み

當日の出演者及題目は左の通

に終了した事は旣報の通りで のガラもある事とて好成績裡 のガラもある事とて好成績裡 開催する事になつた、其日取六日から更に第二大の競馬を大日から更に第二大の競馬を するとともに行内に監禁し行 行分行に挙統所持の八名組の 行場が押入り、行員を脅迫 に馬賊が押入り、行員を脅迫

匪賊の片割

競馬

六日から

新京第二次

新京に潜伏の形跡 日平

今日このごろの新京署保安係 は設監臓の洪水、係員は血眼になつてゐるが設設臓は一日 八件平均で、十二日は十件を 超へ關係者は朝から被々詰め かけ係官の前で大對論が始ま 明渡問題、 排問題であ

失敬して逃走 新京で取押へ手配

一四、讀審の業しみ四、引堆綾子四、引堆綾子

| 注動場に於て開催する事になる。 一つた常日は日曜のことゝて日 18 浦人交歌に服ふことゝ期待されて居る。

居住消息

造荷

一報荷造

播起

专 107

三、林希道

日曜のこととて日 皮く社會に職逃したで開催する事になってれる洗傷な日語を得て日出一般技術を公園西隣 卒業生は男十一名女四名でい

便利低廉

短許學藝部長

橋本静枝

竹林畫伯揮毫

五、塚本八靈

日本豊地の雄闘等門下の秀才として且印度支那線古等奥地会ある竹林便作豐伯が今回満年動の探勝者として斯界に合名ある竹林便作豐伯が今回満年動の探察の途次来四約一ヶ月間

民聯合總會

配があった 新京署に手 を山分しそ を山分しそ 四

兒童運動競技會

道髪好者の希望に依り揮毫す

信和洋汀運搬部 電影中山東

海報 参上

何要発送事徒

店

希望者は松屋玉木氏宛申込

来る十三日午前九時より四平 計主催四兆新聞社後援の下に 北主催四兆新聞社後援の下に

均八件

市政公署さん

ズボラのこと 糞屎、塵芥取りに不勉强

かょる衛生設備の領運に向つ かょる衛生設備の領運に向つ かょる衛生設備の領運に向つ かょる衛生設備の領運に向つ 作ることを奨励した結果、最 で有生組合を組織しとりあへ す各戸に便所を設け廉介箱を であるとを奨励した結果、最 近は便所を造り塵芥籍を一戸 又は敷戶で設けてゐるもの 警察廳から注意 一分一○砂八で世界記録を作つた 四百米 背泳(百米)河津 五分一一秒六

二分四

十二日夜新京會館で開催された機範ダンス公演に出演の第一た機範ダンス公演に出演の第一名員島田多米司、同協會佐藤和子の諸氏は同協會大連本部のため本社に来訪した てゐるときであるから市政公 場に對してこれが取除きに充 分の手配をされるやうこの事 挨拶に來社

謝清建

日出を拜する

集ひ

時二十分、西公園にて時二十分、西公園にて 學校通信

保護者の總會室町校あす

满

蒻

▲平安町二丁目一番地ノ一白 ↑四村上肆邸氏長男康穰さ ▲室町四丁目十二番地木村方

は規約改正を提出するだら は規約改正を提出するだら であるから會議席上でも多

孟家屯 水饑饉

本学連轉すること」なつた
本学連轉すること」なつた
東を運轉すること」なつた 給水列車運轉

011

▲老松町九番地橋本濟氏大男 康彦さん二日出生

▲宮川正活氏 錦町三丁目二十一番地から羽衣町三丁目二十十番地クニへ ▲山崎政治郎氏 吉野町三丁目七 十七番地中央銀行中朗公寓 齒 11

每 自午前九時 日 至午後九時

二分一七秒四

目六番地ノ三から錦町三丁番地ノニへ

◆中村葵治郎氏 日本橋通り入 丁一番地中村商會へ △参澤重明氏 初衣町二丁目 ▲丹生武生氏 中央通り二十 十五號ノ四へ から敷島通り敷島寮へ 森昇之助氏 山吹町二番地

利义

理想的立體塗料

協會某有力者は左の如く語つ

洲関参加問題について日本定例會議の重要問題たる滿

品定指御省官諸 水性塗料の權威

店理代 洋信大 五二·ハot=話電

新京土地建物會社

新築貨事務所

新京驛地下室食堂

年齢计議より卅四、五歳位迄至魯寨集固定給付優遇す希望

日曜

祭日

午前中

女給仕人募集

長崎屋洗布所

被言店ト脳係無之候 被言店ト脳係無之候 外交員藤井革夫

雇 廣 告 革夫

村 文 郞

貨

用)

もお高を信ずる

てやい、しづかにしる。

へと覚まつていった。

者は外んだ者だる 手順達に帰っ

治療受付

正午より午後三時まで

無要洋服、ズボ 製 道 真

多數新荷着運動用服裝類

风の立動きがあつて、お完も時限

た場所をめぐつてのぞき込んで

新京の草分

食道樂

を乗りたける

外交販賣員一名入用

花環専門の花環商會の

電話は三九三番

ミス新京祝町五

(A) 番東十 所 次入四

電話四四

V

の好時期

庭球用品

との解な部とお記の二人が尋求の中で冷たくなつて居る姿を設思

高のそばで怒鳴り立てた。

女に名主は沿たくなつて民る

兒

科古林堂醫院

山 運

南話 二六五番

体の単を突っついたやうな順ぎ

線返して、贈きと好寄心とで、の脳解、側の潜脈解と同じ胃等

随時往診の需に應ず

堂脇サト

荷

四を見せて貰つて急に切支外信者

戦性などなからつて、学行主

食料品と

貨の御用命は!!

0

Q

飛行式は

話三二十二五

市場內

日華洋行へ

青果委託賣買

一番にお高の然うした姿を開見

ちお定は数へられた方法で寒を飲べて来ると、マリヤを記しなが



務用品

新京吉町銀座街

ミツ

電話二三二一番

た臓り側の女人の限を探めて。れに割つけながらお記は数へら **軍管**都の安因の手で一同もつそやがて負担時の総元が帰って、 調がくばられた。 0 日の隠骸の後でいった言 Ø 田

心へ戻しに立上つてゆくといいなだが食べ終った食器を強い縦 刻位に吹みなされ」 中へ展しに立上つてゆくといい てそばへやって来た宅名主の女人 取捨かけを尽れて、どやく、まだ脚を全くさまし切らない女

春季大祭

の馬叉関の岩陰原関の方で、時 と怒鳴つて輪を造つて居る女川 「あ」比處にも新入りのお定さ

等現に、魔をつぶしたのである。 それにしてもきつばりとしたその は耳に入れて居たのではあるが、 **愛目けた安因は帰高らかにわめ**

新京神 東を十五日

雨傘印入、雨合羽各種 通消防歐橫 灯提店

親切叮嚀

んが死んで居なさる」

するとお高の

撒越精 △御一報次第 滿洲運輸

新京三笠町四丁目

□出前迅速□

北陸名産なめこ料理

5

5

純東京にぎ

陳室家

列內具

設裝建

備飾具

設計製作

樂道食

御何ひ致します▽ 新京支店 電話二六二七番

金金

家 向

洲 庵 分

新京朝日通七一番地 雅話 三四 九四

新築!御氣持上言御座敷

そして御氣軽な

0 . 00

朝鮮軍經理部賞伏受領帝國發明協會有功賞受領帝國發明協會全牌受領 蒙各界御指定御採用 宮崎組新京出

新京八島通老松町

科內 耳 花 肛門 皮 鼻 病 咽 醫 入院隨意 病 喉 科 科

病 ▲原 木

建築諸金物、浪平板

サービス振りを御覽下さい美人 揃ひの ウエータ 連の

カフェーラ

朗らかなホー

土地金物商會新支店 金電工用具

本店 電話長三〇〇七番地大 連 榮 町 二 番 二 番 五 五 六 番

土工用、諸金物、洋釘

材木 母話三八八一替

三 井 茶 東 園 製

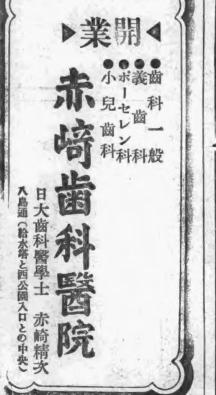
材 市内各食料雑貨店にあり 新京蓬萊町《中央閩新京日報社西灣》



初京口本橋通

特約店

八八八八番 (新京百貨店廣入) 會









ソ聯側の互譲的態度期待

復今回對蔣企業會社からの派 復今回對蔣企業會社からの派 着員ラモール氏は實情調査の ため十二日來京した

海成發表

ましいものあり自然清涼、雄 さて以來北鮮地方の愛展はめざ なて以來北鮮地方の愛展はめざ な

来唯一の北鮮

命を異にする

午後三時左の如く公表し東京関通」陸軍省は十二

開か

氣呵成解決せ

至るものと觀られてゐる

通告したので、十四日協議の上多分十五日頃會商續開の運びにソ聯代表部は北鐵交渉第三次會商の日取協議を十四日爲す旨十

壓重監視

1 -

實情調査中 我總領事館 事館

關東軍の編成改革

御裁可を仰ぐ

ライヒマン博士報告書印刷

挑日活動詳述は確賞

随員正

武競表さる

四員全部は左の通

拓務省書記

企業調査の ため來京 0

から

武井守成男 津田 謙吉 主計 主計 式 部 官 皇族附武官

の計量を持つて居り、

新工業が煙をあげる筈で伺地 ・一帶の前途は頗る多幸視され て居る

な役割を受持つに至り大連に完成とで工業地報として重要 **能工場敷地として懸富な平地** と水の便を有し安價な動力が

の新工業

清津は隣接する度 の事となつたが從 の事となったが從

期待される朝鮮最初

は日り関係の念を告げたる場合に戦闘的行動を開始すべき 下準備を爲す機関で西部線を 四国に分ち、從業員に對し連 格〇〇工作等の指導方針に關 するプリントを毎週一回發行 して訓練して居る、一方沿線 に関し、一方沿線 るが、右非常委員會たるもの を員會を設け極々策励して居 を開始した

危篤に陷る

結果で現に蔣鎌が大油房建設 の課職系統が整備されて居る の選職系統が整備されて居る

中であつたが十二日午後危篤直温氏は落膿症の手術後療養 片岡直溫氏

満洲の國勢を知る

所要部隊の交代として第一、 各々一部隊を編成、派遣せら | 御裁司を仰いだ上設合された支那駐屯軍司令官縣下部骸中 | 第四、第三、第十二歸團より | るゝことゝなり、十二日上奏

聚落調査進む その成果期待さる

ところが多く、現状を もつては政治の基礎をなす図 を加ることは勿論、各種の 状態には實際とかなり相違し 人口や戸敷およひこれが分布 魔では最少單位の部落を調査 森子爵令息

が今日まで既に四十縣の報告 命じて聚落調査を行つてゐる 村は更にこれを部落長に 懲役二年求刑 の控訴公判で岩淵檢事

し、無はこれを區、村

ところは人口尸骸などが二倍

この聚落調査 責任免かれずと前審通り懲役 二年を求刑した

部落の分布狀況もかなり

も三倍も現在のものとちが

長島博氏

收容されん

牧客される複様である となり十四日市ケ谷刑務所に となり十四日市ケ谷刑務所に (東京國通)小山法相を告設 た背後の人たる長島隆二の

の見て居る散もあるので、おめお しまふと思った。同時に、夫人

となら、邪産を無趣に、外へ押した、あんたが損だから――』 だく、うしろへ引つくり返るとと ろであつた。

のなた方は、どうぞ彼方へ―― は他一群に、少し書ふことがあり

生命線を行 溝 恋 曲 (荒國 川 左 万 差 二 章

石鹼は

サララッと

ごしく

に於けるソ聯從業員は積極的【ハルピン國通】北鐵西部線

非常委員會組織

西部線沿線

からつて行きさらな機能で、配色: がとって行きさらな機能で、配色: つた眼鏡が、わづかに鼻の先にBP からつてあるのを、無け過さうと は、それに就へられたでう 他一は、それとみて飛動は、夫人と称と 夫人と称と なんとなく、恐ろしくなって寒た

味覺で立つ=

概である。 然、伸一の前に立ち騒がつた。 ひどい概念である。明かに戦災

唸を生じて大評判

で彼を、外へ連れ出さうとした。

てみる気焼は無い。飲は只、数つだが他一には、それ以上、野つ 押り扱けて行かうとした。

●御壽司仕出し 三笠町二丁目

食道樂

電話二九四二番

ておまへはマア、なんといふ物ろ

そんな手腕なとと

千無子夫人も、ブル (魔をふ

見るや、 **彩色は、棚手の映れを取って、** 「わッ!」と悲鳴をあげて、突然 茂隆は、 父の目の前に、形意の

「宜いから、難して臭れー」

しかし他一は緊切らの振で、な

形態は、プッキラは

すを、強く振り

彼としては、とのま、過期する

とは、いかにも残念でならない

の手が歯に迷った。 観はもうムシ

販賣所

親町三丁目(鮮ੑੑੑੑੑੑੑੑੑੑੑੑੑੑ) 電話四八二六番 御川け致します

▼御用命大第

貸家

一、店舗改は事務所何れにも適す 一、店舗改は事務所何れにも適す 一、宗賞其他面談 再等記入の上新京郵便局留置にて御投函下さいませ御手紙 再等記入の上新京郵便局留置にて御投函下さいませ御手紙 再等記入の上新京郵便局留置にて御投函下さいませ御手紙 手見の上當方より御相談申上ます に、店舗改は事務所何れにも適す

次

郎

雇廣告 當三十九年

死をのけんまくが一一は、テッチと出てしまった。

(-)

迫つた今日近離組神谷組が特命の階員ひで通行止めまずる各道路はアスファルト舗装工事が始められ、日時共に同街一帮及四國の朝日通八島通並ひに大同大街に秩父特使宮殿下の御來京を控へ、新京ダイヤ街の完成

御道筋の舗装工事

大急ぎではじまる

活州成の産業、税制、警察の

氏一行六名はハルビンよ

いふ事を主限として大連い に本理的に背景されるかと で合理的に背景されるかと

F 六

機會にソ聯の實標をスターリオンを以て任じて日ソ開職を

伊太利記者ト

開に達した確報に依れば四月の指揮する○○歐は永豐鎖の で指揮する○○歐は永豐鎖の で推揮する○○歐は永豐鎖の で推河鎖にばん居する的一千

三十分吉林から來京、永樂町 先づハルピンに赴く、十六日 京花住會員の敷迎宴に臨み翌行二十五名は十三日午後九時 日午前八時三十分新京蔵、一 同夜は衛生工業協會およひ新済鮮戦生工業調査會観察園一 太陽ホテルに落着さ、翌十四 午後三時二十五分再ひ來京、

講演會も開かる

謝外相訪問

午後外交部を訪問謝大臣と而者セスコ、トマセリ氏は同日者セスコ、トマセリ氏は同日

同氏は数日滯京の

日本品の進出余地

勢銀の低 と考へる。

資源の體富さと

りどん々々進出すべきものだまだ日本商進出の輸車あ

記法の制定が最も急務であ

△奎酮氏(宮內府營俶科長)

充分にある。

視察を終へ濱野東京府議語る

りが日本内地の産業との調 後も経々開設を見るであり今 産業の適出は多望であり今 の資源と低等銀の下に日本

▲衛生工業親察園二十五名十三日午後四時来京太陽ホテル投稿十四日午前入時三十分發榜市へ ▲東京市参事會員七名十三日 年後十時設府下 ◆校見商業生二十六名十三日 年前十一時三十分發情行 三日午前八時三十分發情行

を配が、

その時、父の膝に抱かれてゐた

ルー」と言って、恐ろしさうに欠

来京侗日午前十

等西南側首脳部は此の形勢の

極東司令官罷免說

實現せば日ツ關係緩和せん

を観察した後へルビン、黒河 に対域官マスト中佐は十二日 に変別大使を訪 に変別大使を訪 に変別大使を訪

お歴々

今夜着京

先つ哈爾賓へ

菱刈大使を訪問

滿鮮衛生工業

業界の

が、彼の失脚により極東方面に於ける日ツ間の空氣は順に

方面に向ふ豫定である

製匠―を廣東省境に駐

氏が西南派の勢力を恐れ

天に一面西南軍備の充實「達した鳥報に依ればソ聯極東の結果一面緩和策を講す」 【チチハル図通】本日来所に

【南京十二日發國通】蔣介石

聞

新

西南派和戦兩様の構へ

央軍局下に

酸液振りである

使用紙の刷りくず

東に乗込みつ 1あり、

施される豫定である 奏御裁可を仰がれた、

樺河鎮に蟠居する

紅槍會を襲撃

二回に亘り

三日に再度約一千の紅槍會は

火、惨殺等の

事質なく只五月

内の陸海軍領袖等は複額々廣

れた如く技術問題を取

知らしめず印刷に當つては特ではその内容の漏洩を恐れ極のではその内容の漏洩を恐れ極いないを強いがある。全國經濟委員會ではその内容の漏洩を恐れ極いなセンセイションを増起さん

中央の関係上外敵防禦の貸め 中央の関係上外敵防禦の貸め

を中だが、十一日**我**總領事館 を中だが、十一日**我**總領事館 を可た率げて賃相調

に参内、 天皇陛下に拜謁仰付けられ、關東軍の一部平(東京國通) 閑院參謀總長宮殿下には十二日午後二時宮中

六月一日より實施の

豫定

時常態復歸に伴ふ關東軍司令部の編成改革につき 委曲上

右編成改革は來る 六月一

日より實

東に西南軍事會議を召集す 事となったが會議の名稱は對 を實行する事となり十五日 3

急速的軍備大擴張に着手

を聞る筈である。 三、省内の保安隊を保安師

||一個示法方||して脳巣の蔣鼎は頗る注目されて居る、倫確開するに陳濟棠は木會額に一、空事擴張

日好戰將軍

總務部新京在勤運轉手を 新京地方事務所運轉手

新京室町葬営小學校訓導に任

茨城縣公立小學校訓導

我方も横山中尉以下死傷

移民地に襲來し危 務指導官は之が

版 移民地は無事なる事判明した が移民地附近は今尚約二千の が移民地附近は今尚約二千の が移民地附近は今尚約二千の が完成の鴨は滿洲國の國勢を

てある

往來

る問題の背を、ガーばい、軽く突

▲八並次官(司法省)十二日午後三時二十五分米京同日午後三時二十五分米京同日午後三時二十五分米京同日午後三時二十分發南行十三日午前九時發南行十三日午前九時發南行一十三日午前九時發哈市へ三十分發哈市へ三十分發哈市へ一三日午前九時發帝下へ 「旅程さん、お腹も立つでせらが とうぞ、一とうぞ、踏してやつて とうぞ、からなった。 It, 激れだ、といふやうな気情かも手で

出してしまひたいくらねだつた。 それを、戦うじて踏みとらへると、残麼の難しい趣味が、残ぞる他一の転りを顕著させた。 不同語もをあると、似の上に、不同語もをあると、似の上に、 彼は手を伸ばして、それを溢みあ 辛うじて踏みとらへる

「大概にしたらどうだ。動物くす

歌はもう二度と手出しをする要素 歌はもう二度と手出しをする要素 死亡が時間、手をもつてそれを

飛遊は、つとめて冷酷に/

として映けを取つては他一に動し一ヤクシャ間である、整領の容赦は

元店員 野瀬良太郎

シ今後當店トハ何等關係無之候ニ付御諒知相成度廣告候右之者不都合ノ行爲有リタルヲ以テ本月十日限リ解履致 五月十

也

最も

(=)

十月五

年九和

ダイヤ街や東一條も同様 一夏中には實現 の計畵

本通り半額負擔を主張し、こ ||在||上用||時代にある受益 してハルピンへ行くとか、折れに對し一般の意綱は過去の | 歯無理があるのでこの際満電 線を經て裏日本へ上陸すると出来るだけ多くの經費を満電 側の一層の機性が必要とされいつた調子で、とに角族行圏 | 歯に取つては相 り返し 南行、又は新開路京園 | お食種し、受益者の負擔を主張し、こ ||在||上用||時代にある受益 してハルピンへ行くとか、折れだけ少からしめ、率ろ皆無 もようである ・では旅館のわりあて、市街光観察などになつてゐるが、鴻電側は從 ||下

京

日

第で百三十二名)列席、朝合 部で百三十二名)列席、朝合 を開く、當日は各係委員(全 を開く、當日は各係委員(全 來る六月三日、西公園グラウ 準備の打合せ

には出來

漏なきを期してゐる、

聞

てゐる模様で、滿電側の誰

補電側の護步

か儲けなど眼目にしてゐま のを一般のお方に喜んで頂 のを対して、別に利益と は結構です、別に利益と

妹お揃ひで 計削で結婚式 さても芽出度い話 沼田参謀も親代りで がある。 三の関体の服會

用領除隊兵

関体育協會主事で蔣洲協和會酌は神田郊一氏、新郎は蒲洲 曜町四丁目十四番地奥勝久、 北海山常鑑町三丁目十一號力久 北海山で同じ日の同時刻に 北海山で同じ日の同時刻に 北京では二女三女のご姉 においると、お姉さ では二女三女のご姉 においると、お姉さ 欠愛セー 殆ど賣切れる 和田中佐が立ち式はお姉さん 別田中佐が立ち式はお姉さん 別田中佐が立ち式はお姉さん いとの計

牙郵便局

「築擴張計畫

比支蹴球戰で

中等學校卒業程度にして郷肥を解する者年齢四十歳より五中等學校卒業程度にして郷肥を解する者年齢四十歳より五中等學校卒業程度にして郷肥を解する者年齢四十歳より五

事務員募集

新京土地建物會社

兩選手摑合ひ

日本橋通日本橋詰

京 新京百貨店事務所

中央通りこ祝町へ二百四十坪

友の會では大喜び

それに

養馬會事務員 男子用給國幣二國二十銭 御希麗の方は午前中来談ありたし右募集す 新京富士町五丁目六 新京富士町五丁目六

男女事務員募集

父 山本麻満儀 豫而病氣入院 中前二時途に永眠致候間此段以紙上不敢取謹告仕候上不敢取謹告仕候 追而罪儀は命中行列を際し五月十四日午後一時追而罪儀は命中行列を際し五月十四日午後一時

マール』を開いたが意外にも「の讀者會を兼ねて設會式を學去る六日説町太子堂で『友愛』月二十五日に難誌「主鱗の友」記載、「友の會」新京支部は本年二品載、「友の會」新京支部は本年二 合計三十銭毎月納めると | 1年 | 東よりしばしば

三日午後一時から隣東憲兵司院東軍へ司令官変刈大將は十 軍司令官 憲兵隊檢閱

室の擴張を

令部並に新京憲兵隊本部、 得内の随時検

食膳を賑はす物

人の山、旗の山、旗の山

一、断京商女座談會 十四日 日午前八時から正午まで 一、第一時十一時から 一十四 日午前八時から正午まで 1、新京商女座談會 十四 1、新京商女座談會 十四 1、新京商女座談會 十四日

昭和九年

五月十三日

人代族

松 田灰水師梶

益 助茂貞武茂 太 太 太 郎 郎直郎雄彌滿

初夏は西公園から 山田 西四三 許承基

午後一時から

ウワインド装飾競技第一日、満電主催、市内商店ショ

解

廣

交員

シ四月七日限り留 東 川 藤

件 次 (二十九歲)

四十分邱飛海のサーブで開始のシングルスに依り午後三時のシングルスに依り午後三時のシングルスに依り午後三時のシングルスに依り午後三時の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の 佐藤 大大大 ○四○ 邱 飛海 右の者今般都合に依り 四外 交外 交

マニラ十二日設園通】日本 島のサーブで開始、第一ゲー ム二十八對十八で比島リード 大いで二回職に入るや日本鵬 子づきぐんぐんリードしたが 日比排球戰 日本慘敗 で御一報被下れ

れも ばの

直にあり

比島側も暫時盛り返し結局二十一對十八で第二セットは逆 に日本がリードレセットは逆 ルとなる、而して、第三第四 ルとなる、而して、第三第四 となる、而して、第三第四 に日本修動す

優良見に 包配。

献々たる武勳を樹て

屯COO膝満期除除!

年前十一時三十分新京慶列軍 で在郷軍人會、勝合婦人會等 多數見設人の戦呼に送られ、 優しの母國に向つた

難に属を拾った

京原領事領検事局に送致した時一件建規とよるに身柄を新時一件建規とよるに身柄を新

臨

時

在中現

→老松町二丁目五番増渡漁業 益 順二十分

日本書展

『落しもの』は落し主からそ の名を競表せぬやう希望ある 冒電局の注意あり爾後掲載を

▲ 説町四丁目十六番地郷在澤 氏は十二日午後八時四十分 ごろ吉野町夜店で赤皮製藝 ロー個在中現金三十園を抜 き取られた

けふから始まる

新築貨事務所 日城の場所回設備完全

图行銀合組 京新

新正 隆銀 行 支店 職 銀 行 支店 縣 銀 行 支店 聚 行 支店

昭和九年五月十三日 臨舎製出 休業廣 告

洋行本 話 四

祭節競技會はいよいよ十四日 別州電氣協會主催第四回店頭

数から騒覚事集の後想投票で をの店が入賞するか、また一 との店が入賞するか、また一

茶を 店は林洋

てる

店頭裝飾競技 n新家に押じかけてゐるがそ を最近の鴻蘂親祭旅行圏は遠 明日から へ選豫想投票は十七日限り 來京團体の サービ スに忙しい新京驛 のゝ外は無効、期限は十七日を献と新京日報に刷込みあるもの。外は無効、即及は十七日 ますから精々利用されたい もの有効、本紙の投票用紙は こへ兩三日夕刊の三面にあり の大半は |新京||に一泊あるひは

それは青物 地場もの、出るのは月末

日、比排球戦第四セットは 日、比排球職績き

とうぎすが無し

叉は本人來談あれ ・出來得れば望む御希望の方は履歴書途附 ・出來得れば望む御希望の方は履歴書途附 を出來得れば望む御希望の方は履歴書途附 を出來得れば望む御希望の方は履歴書途附

度者心の脚離である。 とんな戯で

へほに

特本

選社

名

局

(+=)

午前一一時四〇八

●買高

入價

新京東二條通十五 横獨屋質店

東二條通廿一

邦男演

京染洗張専門京染洗暖専門

鴉篇

新

後京

想投票用紙

互先先番

16 次

17 13

四時三〇分

二等

1 席

2 席

一等

近松 里子、村田知榮子 杜思、山本 多鄉 社 狂見、山本 多鄉

K

三等

1席

效無票投の外紙用

8 2 席 席

五時三〇分

三支社

話し六番

3

氏名

締切五月十

七日午後九時

限

松

9

長

新

京

K

\$

東氣分の…

本時五五分 氣象強 ・ (東京 m)

5 最 日二回大人に 光浴

0

でもよいが、夏は午前十時頃適當な時間は、春と秋は日中・

朝入京する

くない光線に當てます

5

夜長春座で

を始めとし、永井拓相作歌、 大和金魚星霄見合作高田せい 大和金魚星霄見合作高田せい 本建設八景曝笑哄笑を誘ふ職 本建設八景曝笑哄笑を誘ふ職 本建設八景曝等哄笑を誘ふ職 本建設八景場等で

三八五二番

るロ

五十年祭の大宗教行列を教區内の神父の一團は此

の此の種行列は が法衣

活人劍

十一日は二日間本の特別豪華番組上山中貞雄作品

ります、この本邦 ります、この本邦 大同作たる本映 を入の絶對希

姓名在社

票 -

新 豫想投票川紙京店頭裝飾競技會

畫

限 K 3 締切五月十七日午後九時 氏名 三等 二等 2席 1 贈 2 席 1 席 席

上本建設

券

會

市券 一圓七十錢

日都融和しき

長

援滿鐵社會課

一等 效無票投の外紙用

レウュウ界末等

開下を始め多数貴顯紳士方の御愛浴を厚ふして居ります。分初國は無料で才遠慮なく御試し下さい 新京祝町三丁目十三番地南廣場朝鮮銀行裏門前一回溫浴時間 約三十分 新京鑛泉蒸氣洛所 自午前十時午後十一時 電話二四六二条

●所浴氣蒸泉鑛の一唯京新●

絶大なる好評を博して居る以所であります 終訴第二○九五號「特許領泉滿氣溶」全身腰後が とせば何人と壁も自己の機両にある作大なる自

判斷が付きます流行性感胃や寒小便はほんの數回て中風、不眠症等の御方は一日も早く一回の御試験で神經衰弱 わきが、不姙症、婦人病、淋疾、胃腸、便秘、 態ります一回の溫浴溫泉卅回に優る

非常時回承に棒ぐ

定繁峰 子子子

曼宮崎

宮崎 鶴枝

日本變 洋

支店

□どうぞよろし

の代

個体人員は二十名以上の事 体申込みは前日の興業中 演藝毎日替り・

夜 五時牛 初日五時年 塲 開 Ш

か玉 洋田 本 医 素 一 本 医 素 一 本 医 青木 本 店 を 定 繁峰

美爪術

なない 美顔術

十五日

十四日

和洋髮 是非御來店の程を!!

本店東一條通一三四四四番

黑猫美粧院 支店永樂町一丁目九

もありましたが今回本支 支店 共 増員陣容も整ひました が今回本支 支店 共

5 開 A 割 Ē 十十十十十 六五四三二 日日日日日 紀念 五日間 動品 帯より 奉任品 00 御聞な様に相品進るだ 專化小 門莊間 店品物 からできる 京 ILD 香 南 香丁厂

八揃ひで、大に氣を吐・神田ろ山、一龍齊貞で 神田ろ山、一龍齊貞で ・神田ろ山、一龍齊貞で

よ日八十月五〇

春

度お越しを願ひます

三笠町

= T

110



滿鐵醫院知識醫院

座銀京新 店鏡眼金原 番二九二三县電

處方箋眼鏡謹製

一報及型錄呈上一 會合社名

原田組出張所

新京日本橋通八二

電氣冷藏機機械工具 鐵鋼瓦斯管

電話四七五二号 行

移轉先(新京三笠町三丁里廿五神多屋横)

廣告

移

轉

新京梅ヶ枝町三丁目一〇 帝國生命新京出張所

は履歴書携帶本人來談あれ 經驗の有無を問はず希望者

員招聘

やすんでお

松六の管験に、大吉、ほんのり

典兵衛は、先夜、ここの思覧

だが、何か、

: あつたのですか

「なに、なにもあった網方やね

伊豆臓の主人具兵所は、笑顔を

かない酸化きをしてみなさるやう

立

六さんの耳にいれてをい

を感

ずといふわけなのさ

酒ものめ

驗問題答案生

全くなし頑張なるで砂形! 会はとの少女を診察する時に 会はとの少女を診察する時に その解析から、患者の勝西動は たら下棚によってのみ維持され たったとを聴いた。

平

たのが、例の財主小兵衛が撤はれれて、大奥から職つてまるりまし

黎の智へ強ると、中六-

いいいいとしているのが、時間がたりしてゐるのが

(日

ひとれいりしてある中に、日がと

野すぎに、伊豆酸に除りついた

歴章の絵をつくつてゐる。

一野六さん

大音さんかい

いつい

それをすましての

かると、ダけの際が駆ばれ

節んなすった。

では、また、明晩まるります

ゆつくりだつたの

一へえ

角男には、生れた

Boil

İ

山崎愛國堂

下痢、食慾不振を恢復す

ヴアラグツサ博士

でなったの

-こんどは、大分

そのときは、また、よろしく

大吉。――は際、女すれもして

女に験の深い役者除認とはいへ

終に福利多大なる日人本業に精進努力

一世報報 本本 大学 (本本) 本本 (

京九月前

の気へまありました。 今夜は、ちょうと、あふことが言 遊びに乗るやうにことづけておく に対あびでいる人したら、今夜 明日の何でし、ちょつと、 ■二黒の人 運氣優勢にて目 ・二黒の人 運氣優勢にて目 ・四線の人 我意を控へ長上 の意に從はで替を免るべし 丁と申と辛が吉 丁と申と辛が吉

我盗難注意ずべし

恐怖心に伴え失せて、この事ではてあたものが、度温なるにつれ、

始めは、こはしながら、動つ

ちらは、出野大青

西五

行友李風

たと、快歌、悠然

の際形態に

と、戦内をごふと、中六の女朋 一代六さんは、お出でござんせ あの人 人を外らさず愛 一人白の人 独和 1000 であるが古 社と丁と庚が古 社会では、 一部のでは、 一述のでは、 一でのでは、 一でいるでは、 一でのでは、 一でのでは、 一でのでは、 一ででは、 業建築造作移轉婚談金談吉 飛和圏滿の日起 りて温順なればな信益加る一五黄の人 心の角を取り去

算術與上達 東洋鐵道學會

れやれー

一帯ひなことに、 一年六さんは

きつとが

おや、大吉さんですかい。

中の騒動の分野が、異常に亢進す中の騒動の分野が、異常に亢進す と思いますが、特に大変に変しますが、特に大変に変しない。 を関しますが、特に大変に変します。 を思いますが、特に大変に変します。 を思いますが、特に大変に変します。 を思いますが、それは神殿がやけるは、 を思いますが、それは神殿がを埋せば、 かったれば神殿がを埋せば、 かったれば神殿がを埋せば、 かったれば神殿がを埋せば、 かったれば神殿がを埋せば、 かったれば神殿がある。

中の大切な成分ですが、さらかとるのに、無くてはならない消化能 魔能は勿論、胃が食物を消化する病的に思ります。

またョアトニーは、俗に即隔と でばれる通り、胃筋肉が残滅して ではれる通り、胃筋肉が残滅して ではれる通り、胃筋肉が残滅して 会のでも、知識に多く分泌されたり、たとへ食動が入ってと、配続に到前を製って、さらした容がを受けてなるのです。 4十分日 をなさる前に、先づ 気を提びかせる方がありますから である。 で類と優妙を知らないだは、先 てるる方は少い様です。其ために 能まために

先づ大便は如何いふ物から出來 たが等も含まれてゐますが大部 た砂等も含まれてゐますが大部 た砂等も含まれてゐますが大部 た砂等も含まれてゐますが大部 れいいというでなく、一致になります。 た爲めに、 分泌

に停祉する現 筋の野猫や山 快便 れば、 腹配も「健康わかもと」を 服力を を に対すると」を に対すると、 を に対すると、 を に対すると、 を に対すると、 を に対すると、 を に対すると、 に対し、 にしる、 にしる、 にしる、 にしる、 にしる。 ある様になるので 毎日提別正しく



鬼々と配って

症狀は違ふが病理は同一滴と便秘は 便秘は どつち

病原療法の應用

なるがなのとれランナから 準備ある









三大大方面出出黨

算速成講習會

観を一掃する

專屬荷扱所 全地與際運輸會社支店 全地與際運輸會社支店 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社

その運動、つまり徴化経と共同して食物を徴んにたり、徴化した食物を対化したり、徴化した食物を対化したり、微化した食物を放ったが、充分に出来なくなつた病がもたれる、腹が空かない、ゲッブが出る、臀部へができ を確つてゐる様な智が

い間りか、特に動版感の形からはますが、之は大難に修設なよって治らな手能を離れば長年に直つて治らな 病気の事故、軽視する人を見らけ

い て東郷に震野となつたのが鰹腔され 大便であります。 大便であります。 だから銀通は一定の曜さで、毎日もまつてあるべきをですが、 ちれが下痢したり(音をしてすが、 ちのは、凡て腸に異常があるも だらごなしされ、それが勝に後らのででくれ、更に水分が吸收され、 大震へ入ります。そして大腸を下のででくれ、更に水分が吸收され、

が寄生し報酬を配合

新ない。 ・ に、一フェ関列を展出することを動性して配名の機能は、他体が上で、 ・ の助けを借ずして、 ・ の機能は、他に何ない。 ・ のいでは、 ・ の

ので、というでは、である人

上の方に洩なく進星

作形は突進され、食

音の個別も常勝に取り、前化 音の個別も常勝に取り、前化

だい見せるまでに変見です 醫者の來る迄 八體星